

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第1学年 「図画工作（開隆堂）」

48時間（70%）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点
1	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞	すきなもの いっぱい 2時間	食べ物や乗り物、動物など好きなものをたくさん描く。	2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	(1)ア 絵 選択	クレヨンやパスと なかよし 2時間	クレヨンやパスで写したり塗ったりする。	2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
2	A表現 (1)ア(2)ア B鑑賞	ねんどと なかよし 2時間	粘土を伸ばしたり、丸めたり、触ってたのしく活動する。	2	
	(1)ア 【選択】	さらさら だろだろ いいきもち 2時間	土の触り心地を味わいながら活動する。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
3 4	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞	チョッキン パッド かざろう 4時間	折った色紙を切って開くとできる形をつなげて飾る。	4	
	(1)ア 工作 【選択】	ひかりの くにの なかまたち 4時間	色セロハンと透明な袋で、光を通すときれいな飾りをつくる。	4	
5	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 絵	ながーい かみから 3時間	細長い画用紙にどんなものが描けるか考える。	3	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
6 7	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 立体 【選択】	みてみて、いっぱい つくったよ 4時間	粘土で好きなものやつくりたいものを見つけてつくる。	4	
		くしゃくしゃしたら だいへんしん 4時間	くしゃくしゃにした紙からつくりたいものを立体に表す。	4	
8 9	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞	さわって かくの きもちいい! 4時間	手や指を使って絵の具で描くたのしさを気持ちよさを味わう。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	(1)ア 絵 【選択】	せんの かんじ いいかんじ 4時間	筆を大きく動かしてのびのびと描く。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
10	A表現 (1)ア (2)ア B鑑賞 (1)ア 造形遊び	いろいろ ならべて 2時間	色紙の並べ方を考えながら活動する。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
11 12	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア	うきうきボックス 6時間	うちわであおぐと風で動くたのしいおもちゃを考えてつくる。	6	・作品の着色には、油性ペンを使用したり、色紙を貼ったりすることで、絵の具を乾燥させる時間を削減する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
		ふわふわ ゴー 6時間	手で動かして遊ぶおもちゃをつくる。	6	・作品の着色には、油性ペンを使用したり、色紙を貼ったりすることで、絵の具を乾燥させる時間を削減する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	工作 【選択】	あそぼうよ、バクバクさん 6時間	手で動かして遊ぶおもちゃをつくる。	6	・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。

13	A表現 (1)イ(2)イ	はって かさねて… (かたちというでショートチャレンジ)	お花紙や毛糸、シールで絵を描く。	3	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	B鑑賞 (1)ア	ちぎってはって	ちぎった色画用紙の形から考えて、絵に表す。	3	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
14	A表現 (1)ア(2)ア	スタンプ、スタンプ!	身近な材料を使って、形を見つげながらスタンプする。	2	・ゼリーやプリンのカップなど、スタンプに使える身近なものを普段から図工室にストックしておく。
15	B鑑賞 (1)ア	みて、さわって、かんじて	いろいろな紙を見て触って感じたことを楽しむ。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
16 17	A表現 (1)イ(2)イ	できたらいい こんなこと	できたらいいと思うことを考えて絵に表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	B鑑賞 (1)ア	おしらせします! にっこりニュース	たのしかったことやうれしかったことを絵に表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
18 19	A表現 (1)イ(2)イ	はこと はこを くみあわせて	空き箱を組み合わせて好きなものを立体に表す。	5	・作品の着色には、油性ペンを使用したり、色紙を貼ったりすることで、絵の具を乾燥させる時間を削減する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
20 21	A表現 (1)イ(2)イ	こころの はなを さかせよう	卒業する6年生や新1年生に見せる花を描いて飾る。	4	・作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。

※時間数の精選方法(例)

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、絵の題材として、「すきなもの いっぱい」「クレヨンやバスとなかよし」のいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、製作時間の短縮を図る。

○題材によっては、乾燥に時間がかからない、油性ペンや色鉛筆、クレヨンなどの用具を使用する。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、児童が選択して製作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で行うことが考えられる。

○振り返り(製作した作品の鑑賞等)の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞するなどの工夫をすることが考えられる。友達作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題として扱う。(提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して児童に返す。